

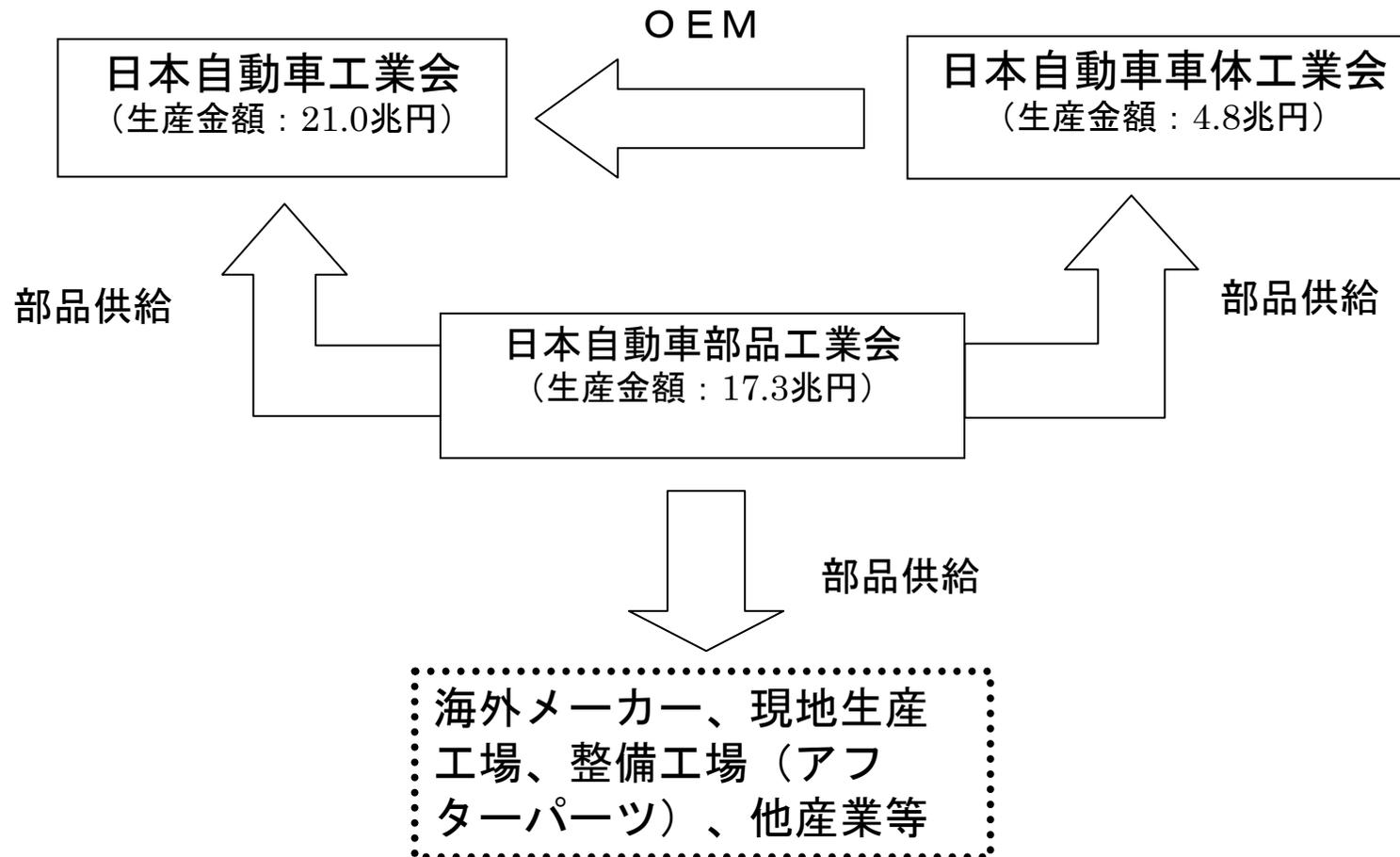
自動車産業3団体の現状

平成19年1月31日

経済産業省 製造産業局 自動車課

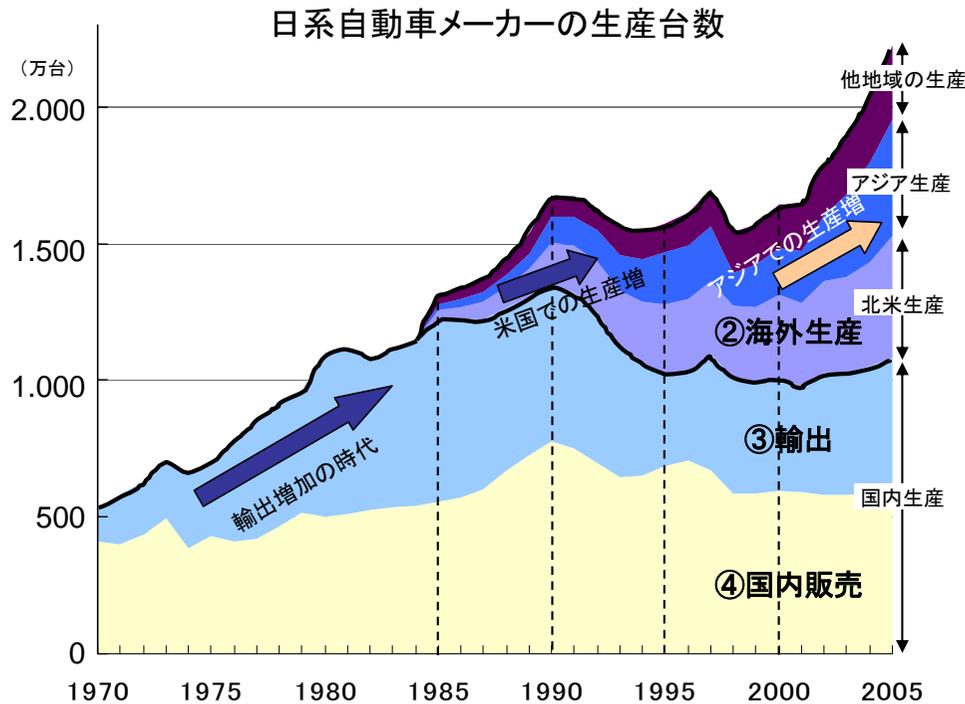
3 団体（自動車、自動車部品、自動車車体）の関係

- 日本自動車工業会 → 完成車の開発・生産・国内販売・輸出
- 日本自動車部品工業会 → 自動車部品の開発・生産・国内販売・輸出
- 日本自動車車体工業会 → 自動車メーカーからの委託による生産（OEM生産）、トラックや特装車などの荷台部分等の開発・生産



海外市場の伸びによって拡大する自動車産業

① 2000年以降、国内市場は成熟化した、海外市場の急拡大により、高成長を実現



- 日本の自動車メーカーの生産台数のうち、3/4（1500万台）が海外市場向け。
うち、2/3（1000万台）が海外生産、1/3（500万台）が輸出。
- 国内市場向け出荷は横ばい傾向。

② 海外生産が急拡大し、国内生産を凌駕

- ・海外生産は一貫して増加傾向
- ・これにより、部品輸出も拡大

	1990年	2000年	2005年
海外生産台数	326万台	629万台	1060万台
部品輸出額	1.6兆円	1.9兆円	2.8兆円

③ ハイブリッド車などの輸出も近年好調

- ・輸出も近年増加傾向（米国は横ばい）

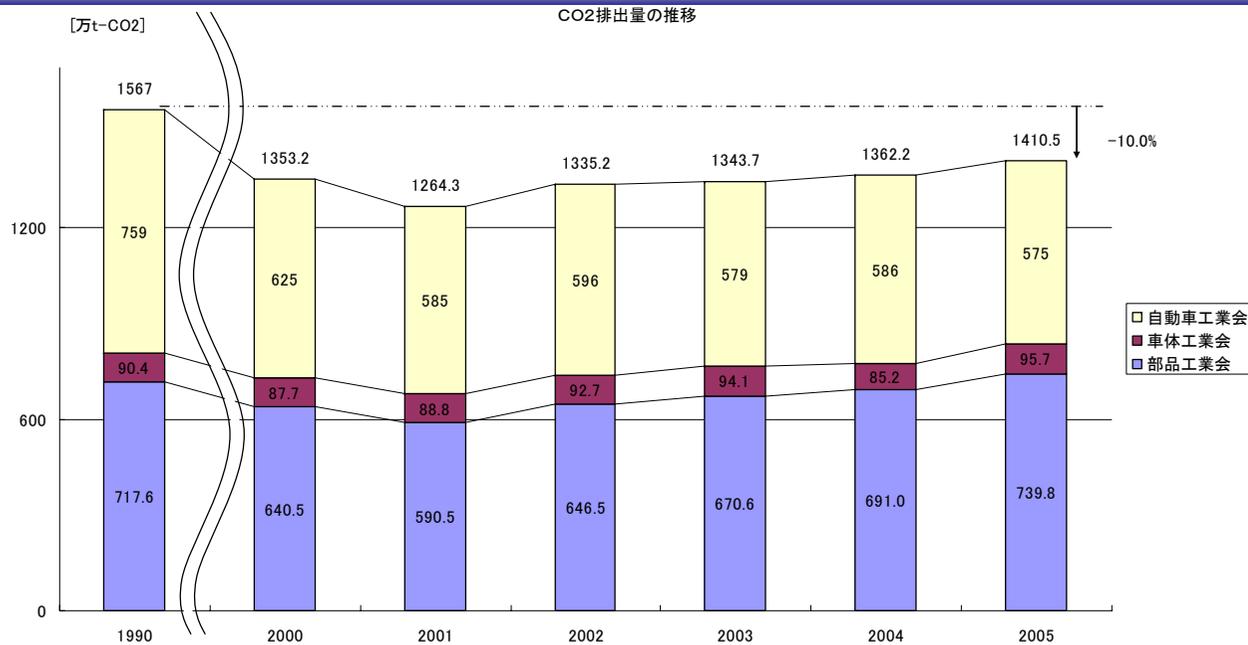
	1990年	2000年	2005年
輸出台数	583万台	445万台	505万台
米国向け	188万台	167万台	166万台

④ ただし、国内市場は成熟化

- ・1990年頃をピークに、近年は横ばい傾向
- ・軽自動車、高級車、ハイブリッド車は好調

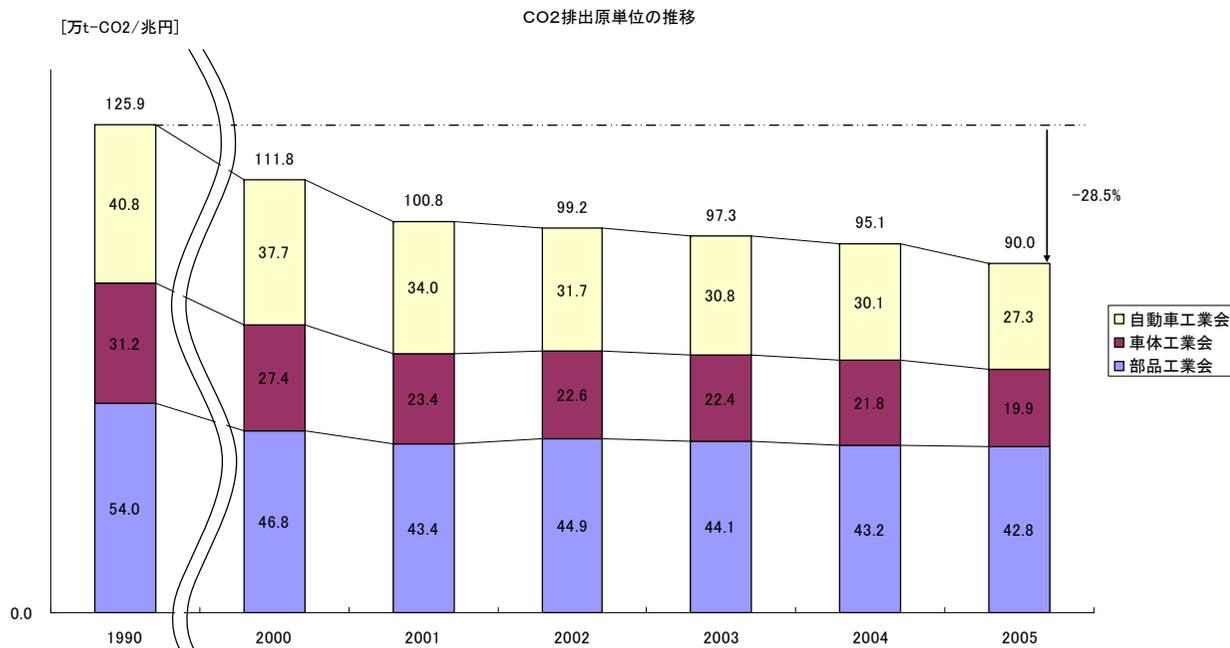
	1990年	2000年	2005年
	778万台	596万台	585万台

CO2排出量・排出原単位の推移



○自動車工業会は既に2010年度の目標値を達成しているが、車体工業会、部品工業会は未達成。

○ただし、3業界の合計は90年度比で10%減少している



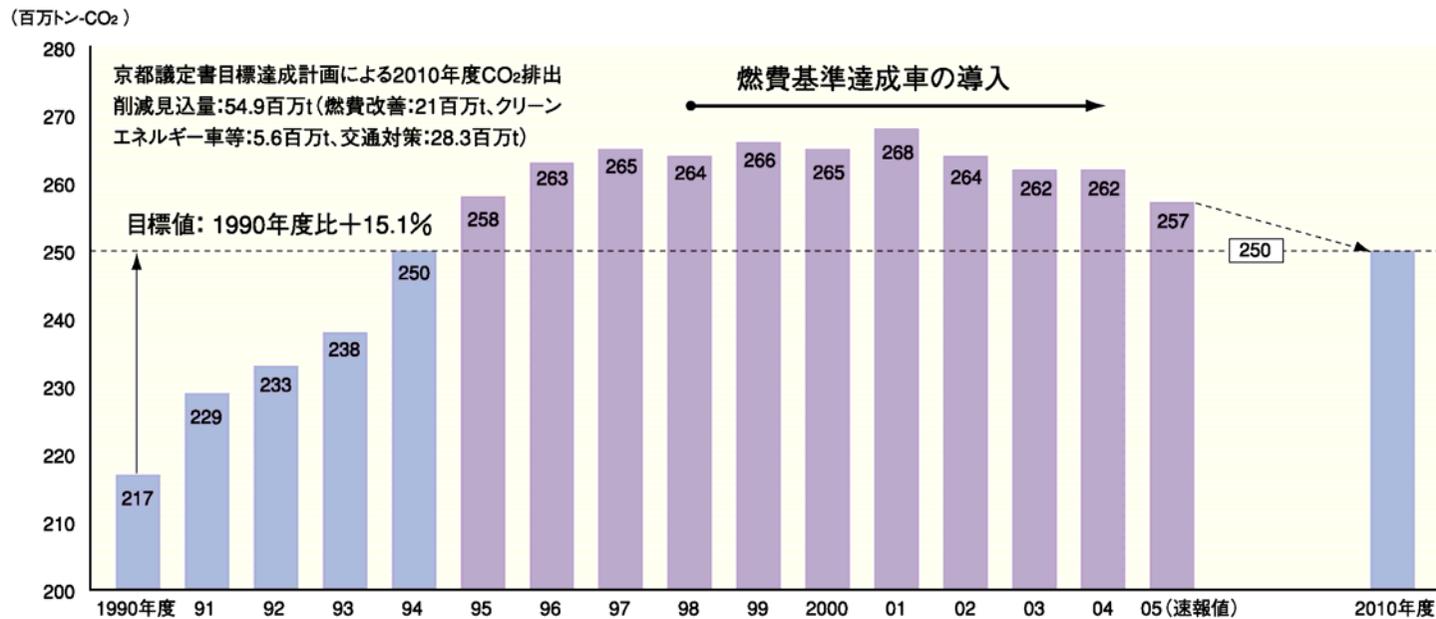
○3業界とも省エネ対策等に積極的に取り組み、CO2排出原単位は着実に改善している。

運輸部門への貢献

○運輸部門のCO2排出量は、2001年度をピークに減少傾向にある。

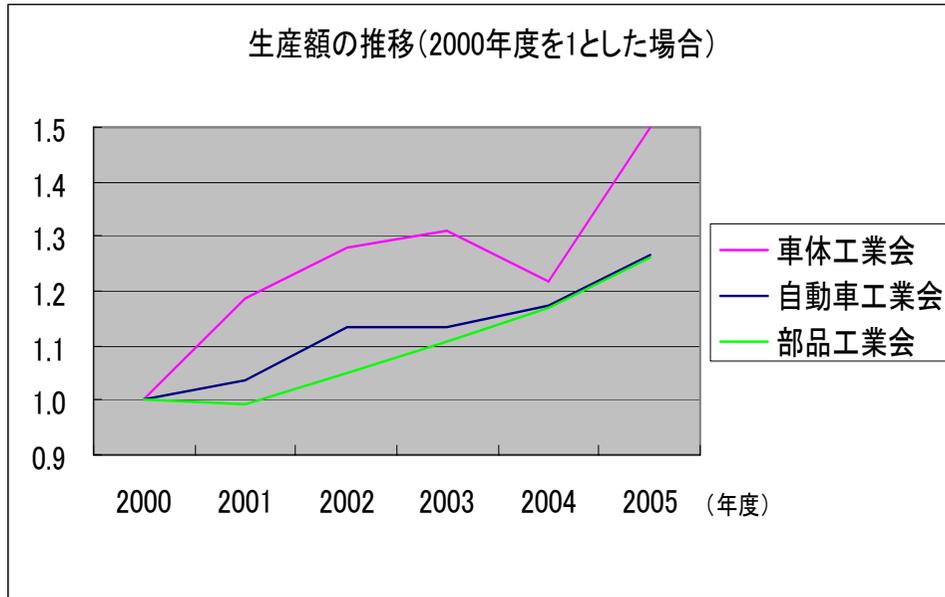
○これには、低燃費車の早期投入、ハイブリッド車や天然ガス車などのクリーンエネルギー自動車の販売など、自動車業界の取り組みが大きく寄与している。

運輸部門のCO2排出量推移と削減目標

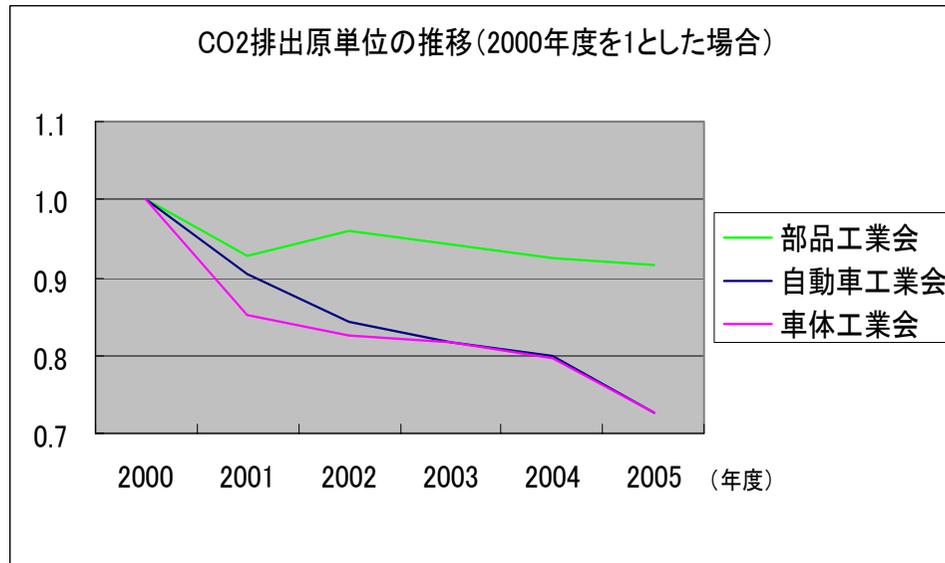


出典: 京都議定書目標達成計画などより作成

過去5年間の生産額とCO2排出原単位の推移



○3業界とも生産額が年々増加しており、中でも車体工業会の伸びが大きい。

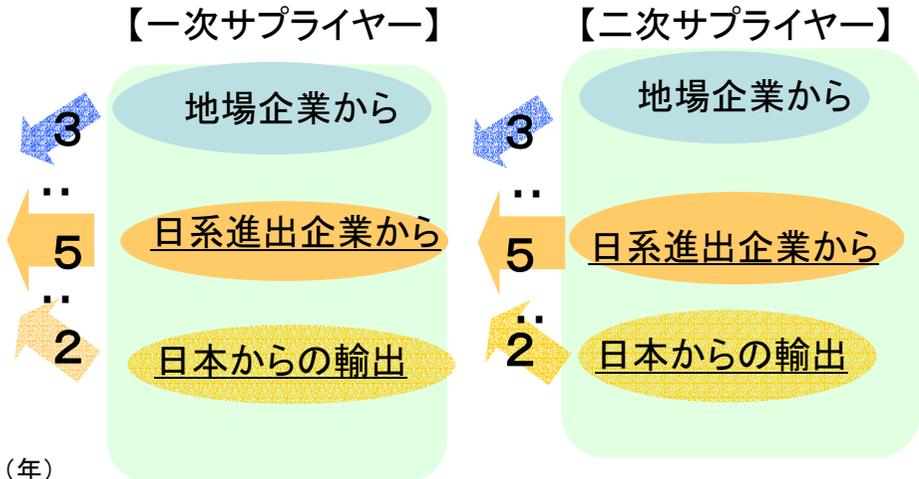
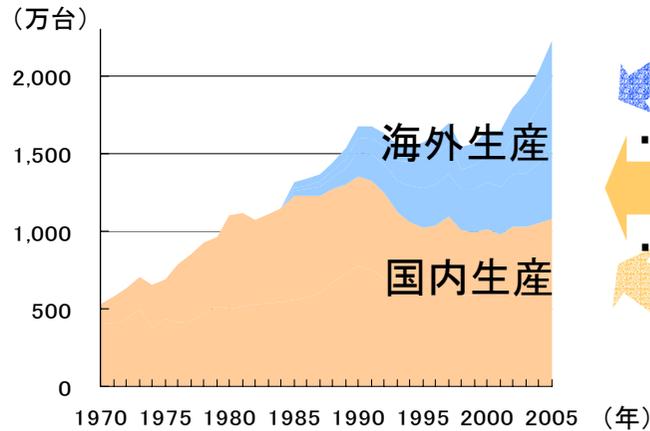


○3業界ともCO2排出原単位は改善しているが、特に部品工業会は更なる改善が必要。

90年以降の顕著な変化① ～輸出が増える部品業界～

「現地生産化しても部品の国内生産は増える」

部品輸出額 1990年 1.6兆円 → 2000年 1.9兆円 → 2005年 2.8兆円



例えば、自動車メーカーが海外生産する場合



一次サプライヤーの20%は国内で生産して輸出



二次サプライヤーの10% (5/10 × 2/10 = 10%) は国内で生産して輸出



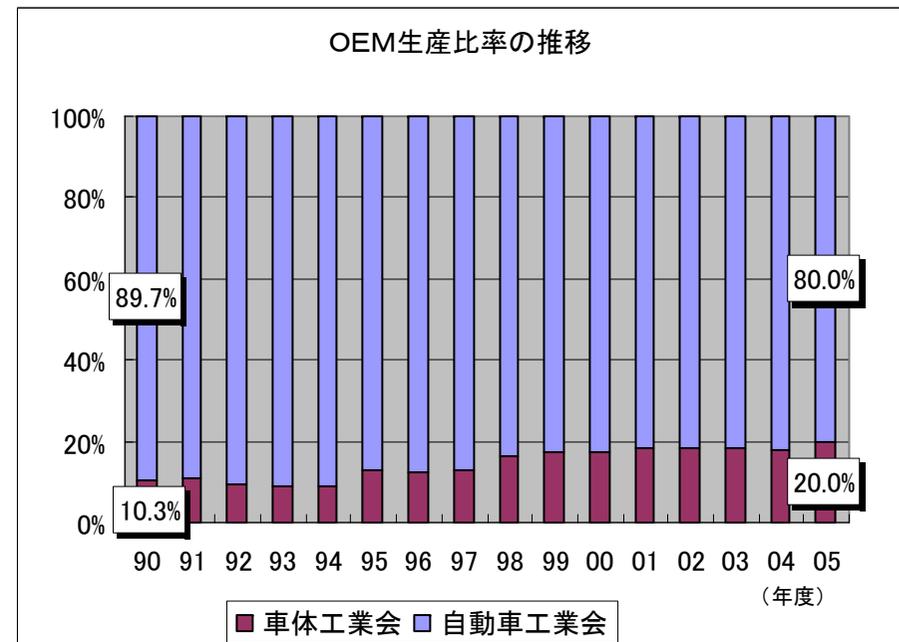
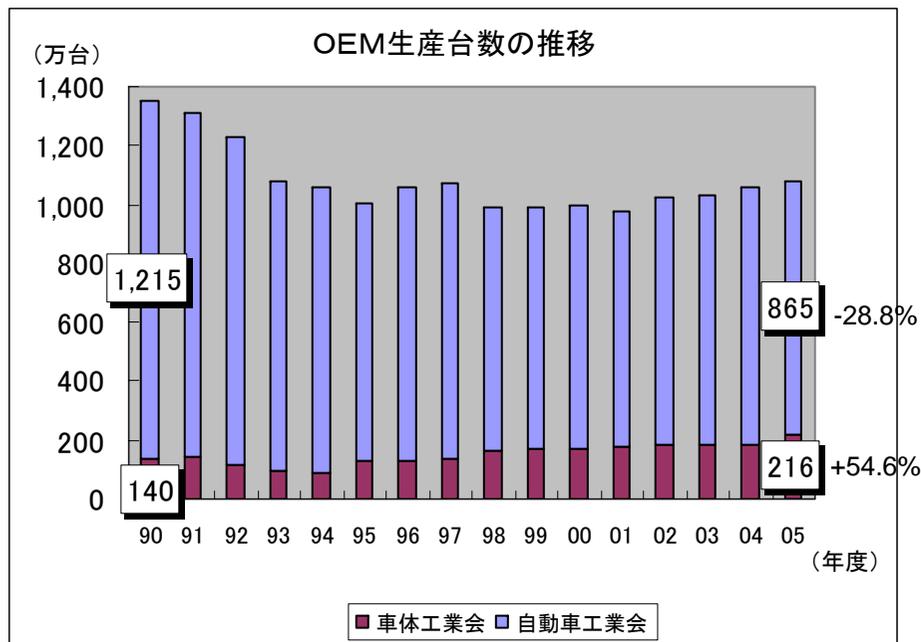
二次サプライヤーの20%は国内で生産して納品

○完成車メーカーが海外で現地生産化しても、日本の部品メーカーの輸出は増加
 ○現地生産化が進んでも、サプライチェーンの構造上、上流に行けば行くほど国内生産の割合は高まる

90年以降の顕著な変化② ～変わりゆく完成車メーカーと車体メーカーの関係～

「車体メーカーへの生産委託が増加」

- 自動車工業会の生産台数が90年度比で365万台減少（1215万台→865万台）している一方、完成車メーカーからの委託によって車体工業会の生産台数は76万台増加（140万台→216万台）している。
- その結果、車体工業会によるOEM生産比率は、90年度に10.3%だったものが、05年度には20.0%まで増加している。
- OEM生産比率が増加している要因としては、①国内販売が好調な小型車やワンボックス等の生産対応、②海外市場向けの輸出への生産対応などが考えられる。



まとめ

○近年の変化を踏まえた追加的対策の検討が必要。

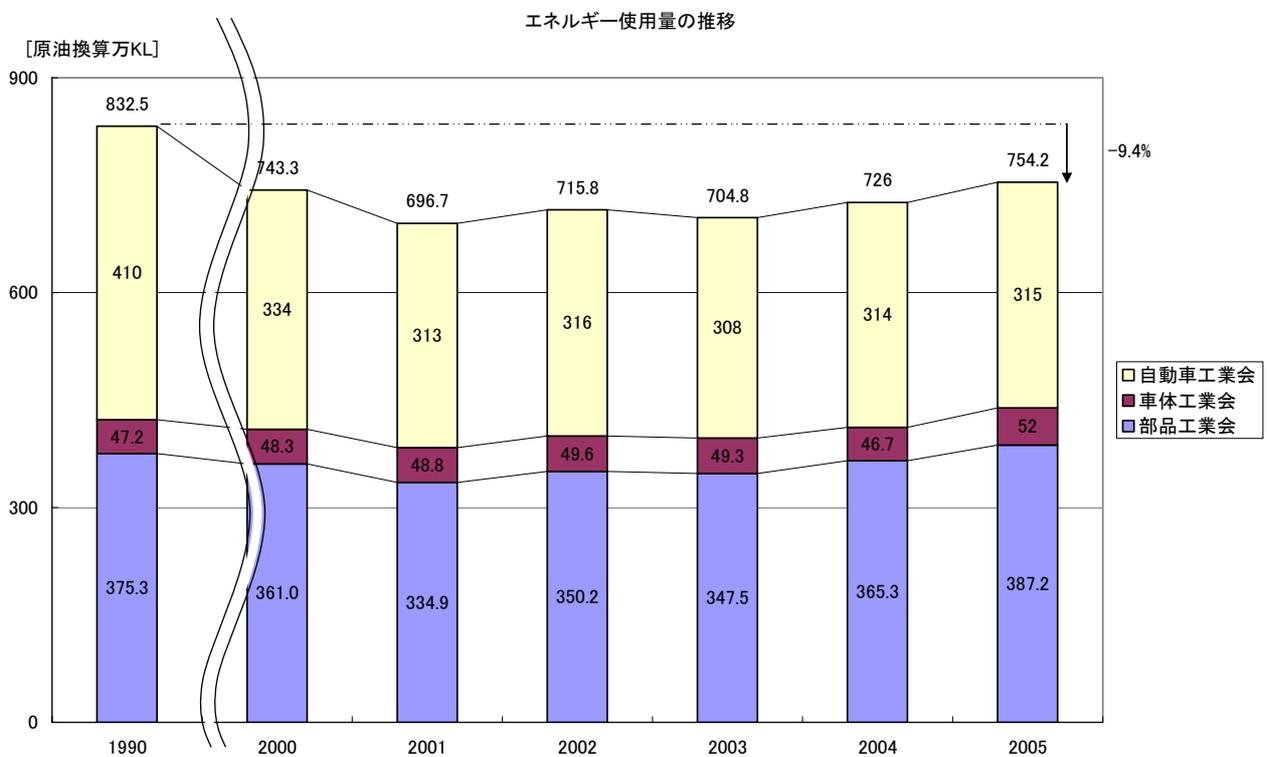
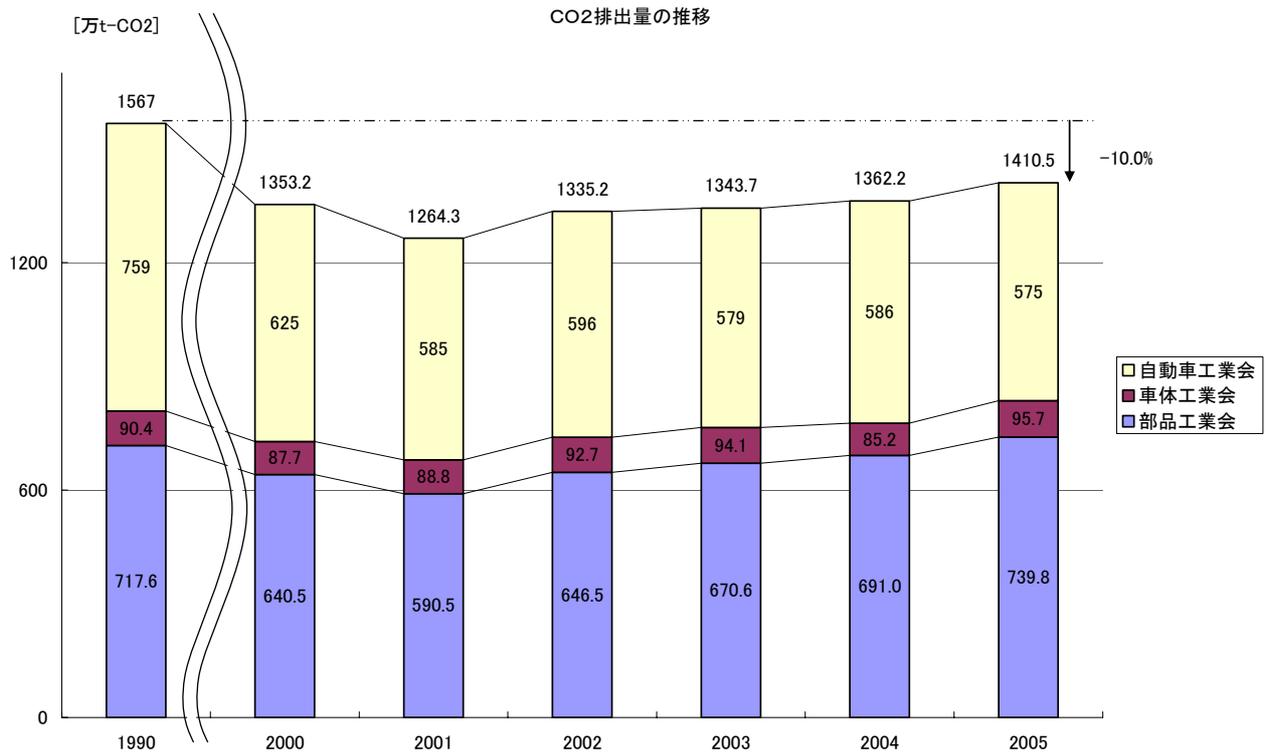
【近年の変化】

- 海外需要の伸びによって、部品メーカーの国内生産が大幅に増加し、CO2排出量が増大。
- 自動車メーカーから車体メーカーへの生産委託の増加によって、車体メーカーのCO2排出量が増加。

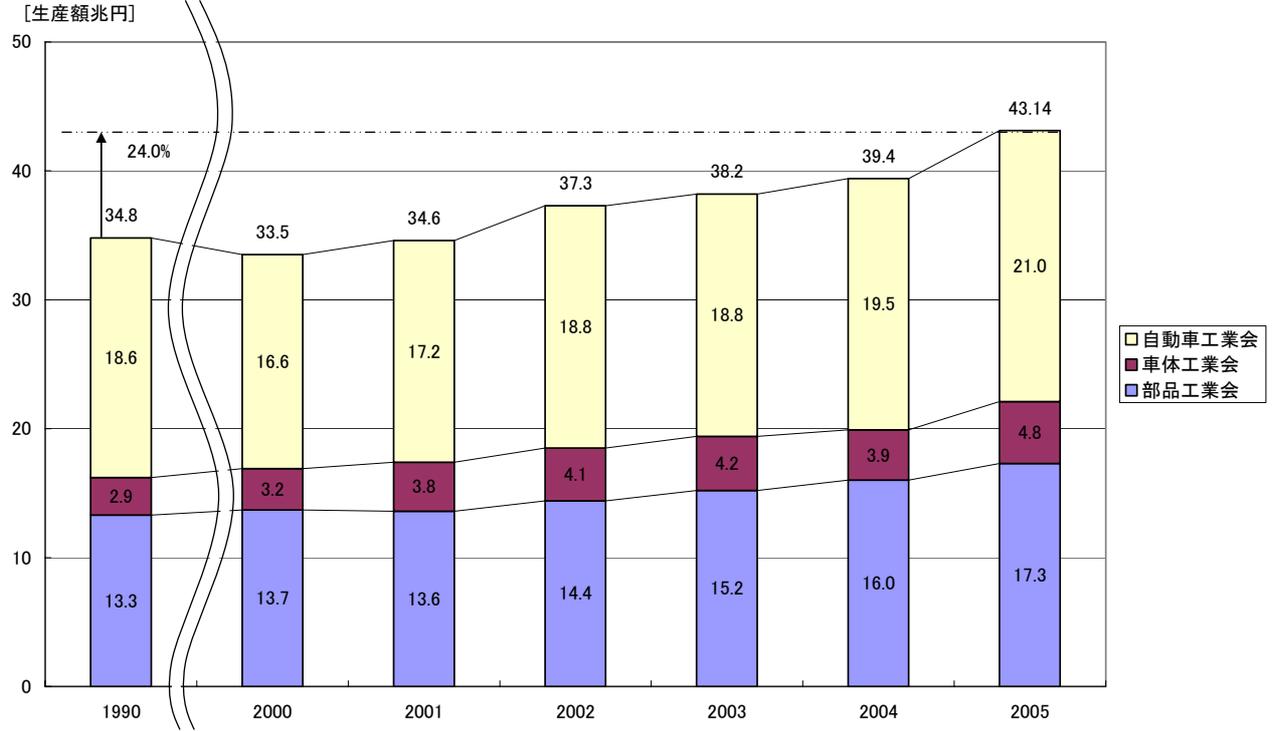
【今後の対策】

- 部品工業会のエネルギーCO2 WGにおいて目標達成に向けたアクションプランを来年度前半までに策定する予定。
- 車体メーカーのCO2削減を目指し、自動車メーカーと車体メーカーが協力し、追加的対策の検討を行うことを要請。

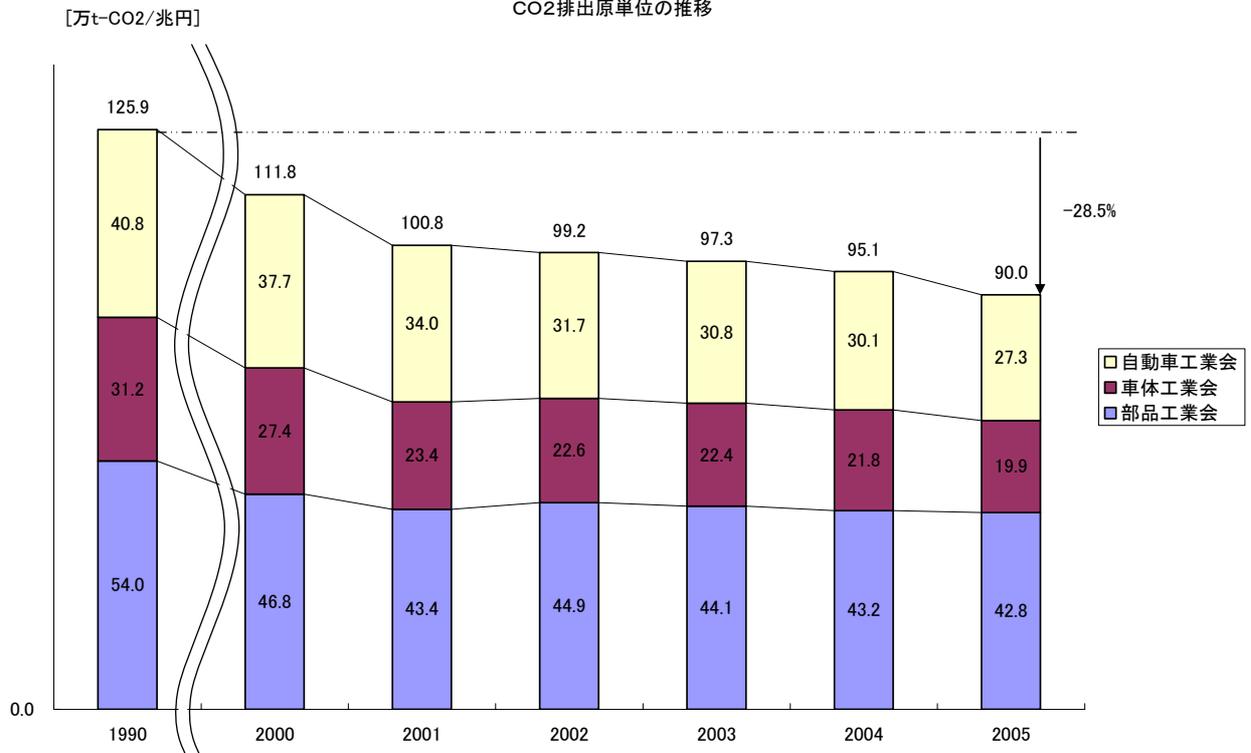
(参考)



生産額の推移



CO2排出原単位の推移



[原油換算万KL/兆円]

エネルギー原単位の推移

